



2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月30日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9265 URL http://yhchd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員 社長 (氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 伊藤 秀憲 (TEL) 092-402-2922
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年6月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	49,783	3.8	676	48.6	724	38.7	496	24.7
2020年5月期第3四半期	47,946	8.1	455	112.5	522	82.5	398	178.7

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 544百万円(3.8%) 2020年5月期第3四半期 524百万円(137.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	194.60	—
2020年5月期第3四半期	156.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	22,998	7,345	31.9
2020年5月期	21,425	6,938	32.4

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 7,345百万円 2020年5月期 6,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	54.00	54.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	68.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年5月期(予想)期末配当の内訳 : 普通配当58円00銭 記念配当10円00銭(創業95周年記念配当)

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,306	1.0	731	30.4	789	22.9	506	10.3	198.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年5月期3Q	2,553,000株	2020年5月期	2,553,000株
2021年5月期3Q	114株	2020年5月期	114株
2021年5月期3Q	2,552,886株	2020年5月期3Q	2,552,915株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う昨年4月の緊急事態宣言発令後、総じて厳しい状況にありましたが、同宣言解除後は、経済活動の段階的引き上げにより、企業収益や個人消費に緩やかな持ち直しの動きもみられておりました。しかしながら、感染者数が昨秋以降再び増加傾向となり、本年1月には二度目の緊急事態宣言が発令されるなど、依然として景気の先行きは、同ウイルスの感染動向に左右される不透明な状況が続いております。一方、各国でワクチンの接種が始まっており、各種政策の効果もあって、徐々に世界経済持ち直しの動きが現れることが期待されています。

医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大により減少した手術数や外来・入院患者数は若干の回復傾向にあるものの、医療機関の経営は非常に厳しい状況が続いております。このような中、2021年度政府予算案においては、同感染症に対応した医療・福祉提供体制の確保、医療機関同士の役割分担や病床機能の再編といった地域医療構想実現への後押しが図られる等、コロナ禍における社会保障構築のための諸施策が打ち出されています。

当社グループが属する医療機器業界におきましては、コロナ禍により医療機関の経営環境が非常に厳しい状況となる中、医療機関の経営改善に資するサービスの提案力に加え、価格競争力やコスト削減による収益力の向上がより一層求められており、企業間の競争はますます激化しております。

当社グループにおきましても、コロナ禍による取引先医療機関の外来患者数減少や、手術・検査・処置症例の減少等により、主に期の前半において内視鏡や循環器関連の消耗品の売上が減少するなどの影響がみられました。

このような中、当社グループでは、急性期医療機関向けの各種診断機器や手術室関連機器等の高度医療機器、内視鏡関連製品等の低侵襲治療機器などの商品分野における営業を強化するとともに、医療機関の需要に的確に対応するためS P D事業をはじめとして医療材料の安定的供給体制の強化に取り組んでまいりました。これらの営業努力により、下半期に入り医療機器備品などの主力商品分野の売上が徐々に回復したことから、当第3四半期における一般機器分野の累計売上が前年同四半期累計比プラスとなるなど、医療機器販売業全体において累計売上が前年実績を上回って推移しております。

さらに、今年度は、事業会社4社体制がスタートして2期目となることから、グループ間の連携を強化し、シナジー効果を高めることにより、継続的に収益が確保できる組織体制の確立と事業収益力の向上を目指しております。また、医療・介護施設に対する病床転換や事業承継等の専門的なコンサルティングサービスの提供をはじめ、電子カルテシステム等の医療情報システムの導入支援や、クリニックの開設・移転・リニューアルをサポートする新規開業支援等、多様化する顧客ニーズへの対応を行っております。なお、外部企業と業務提携して進めている新型輸液装置のレンタル事業や、医療機関向けI C Tサービス、注射調剤・監査支援システムにつきましては、いずれも将来的な市場拡大が見込める商材であり、市場への着実な浸透を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、497億83百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。利益面につきましては、売上増加に伴う売上総利益の増加により営業利益は6億76百万円（前年同四半期比48.6%増）、経常利益は7億24百万円（前年同四半期比38.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億96百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、手術室関連機器等の医療機器備品や、超音波診断装置等の各種診断機器の売上増加により83億36百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。一般消耗品分野では、医療機器消耗品の売上増加により170億14百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品の売上減少により116億91百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、臨床検査システム等の理化学備品やレーザー治療機器等の皮膚・形成備品の売上増加により83億47百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、設備保守メンテナンス等の売上増加により40億74百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は494億64百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は11億72百万円（前年同四半期比27.2%増）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	7,698	16.2	8,336	16.9	638	108.3
一般消耗品分野	16,369	34.3	17,014	34.4	645	103.9
低侵襲治療分野	11,910	25.0	11,691	23.6	△219	98.2
専門分野	7,979	16.7	8,347	16.9	368	104.6
情報・サービス分野	3,703	7.8	4,074	8.2	370	110.0
小計	47,661	100.0	49,464	100.0	1,802	103.8

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、売上高は2億83百万円（前年同四半期比18.7%増）、セグメント利益は63百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は49百万円（前年同四半期比5.6%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比59.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は229億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億73百万円増加いたしました。流動資産は、主に受取手形及び売掛金の増加により、前連結会計年度末に比べて16億60百万円増加し、177億31百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて87百万円減少し、52億66百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べて11億66百万円増加し、156億53百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて4億6百万円増加し、73億45百万円となり、自己資本比率は31.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想につきましては、本日付で公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,012,563	2,043,939
受取手形及び売掛金	10,148,615	12,382,767
商品	2,727,404	3,156,483
その他	199,668	167,850
貸倒引当金	△17,039	△19,327
流動資産合計	16,071,211	17,731,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,622,958	3,658,175
減価償却累計額	△1,807,954	△1,873,960
建物及び構築物（純額）	1,815,004	1,784,215
土地	1,649,301	1,649,301
その他	670,491	724,944
減価償却累計額	△597,537	△622,031
その他（純額）	72,953	102,913
有形固定資産合計	3,537,259	3,536,430
無形固定資産		
のれん	98,000	87,500
その他	62,726	49,792
無形固定資産合計	160,726	137,292
投資その他の資産		
投資有価証券	999,001	1,058,690
関係会社株式	58,958	62,847
その他	608,287	473,686
貸倒引当金	△10,212	△2,042
投資その他の資産合計	1,656,034	1,593,181
固定資産合計	5,354,020	5,266,904
資産合計	21,425,232	22,998,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,466,127	9,175,342
電子記録債務	4,945,892	5,016,812
未払法人税等	132,552	14,032
賞与引当金	457,955	241,342
その他	733,202	598,364
流動負債合計	13,735,731	15,045,894
固定負債		
退職給付に係る負債	483,383	308,817
その他	267,855	298,785
固定負債合計	751,239	607,602
負債合計	14,486,970	15,653,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,796	627,796
利益剰余金	5,289,333	5,648,257
自己株式	△184	△184
株主資本合計	6,410,970	6,769,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,284	616,832
退職給付に係る調整累計額	△48,993	△41,605
その他の包括利益累計額合計	527,291	575,227
純資産合計	6,938,261	7,345,121
負債純資産合計	21,425,232	22,998,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2021年2月28日)
売上高	47,946,404	49,783,439
売上原価	43,014,572	44,579,541
売上総利益	4,931,831	5,203,898
販売費及び一般管理費	4,476,405	4,526,909
営業利益	455,425	676,988
営業外収益		
受取利息	84	80
受取配当金	6,265	5,848
仕入割引	21,994	18,088
持分法による投資利益	16,602	3,888
受取手数料	17,644	18,764
その他	14,410	10,326
営業外収益合計	77,002	56,996
営業外費用		
支払利息	1,857	2,573
手形売却損	3,600	3,927
損害補償金	2,000	—
解約違約金	460	1,219
その他	2,133	1,689
営業外費用合計	10,052	9,409
経常利益	522,375	724,575
特別利益		
条件付対価受入益	26,772	22,365
投資有価証券売却益	8,151	—
特別利益合計	34,924	22,365
税金等調整前四半期純利益	557,299	746,941
法人税、住民税及び事業税	101,231	127,536
法人税等還付税額	△2,870	△794
法人税等調整額	60,401	123,419
法人税等合計	158,763	250,161
四半期純利益	398,536	496,779
親会社株主に帰属する四半期純利益	398,536	496,779

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	398,536	496,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,438	40,547
退職給付に係る調整額	18,699	7,388
その他の包括利益合計	126,138	47,935
四半期包括利益	524,674	544,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	524,674	544,715

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

条件付対価受入益

過去に締結した株式譲渡契約において、一定の条件を満たした場合に追加で対価を受領できる旨の条項が設けられておりました。当第3四半期連結会計期間において当該条件を満たし、追加で対価を受領したことから、当該金額を特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,655,500	238,452	52,451	47,946,404	—	47,946,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,939	201	—	6,141	△6,141	—
計	47,661,440	238,654	52,451	47,952,546	△6,141	47,946,404
セグメント利益	921,283	50,307	3,662	975,253	△519,827	455,425

(注)1. セグメント利益の調整額△519,827千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△508,176千円、棚卸資産の調整額△1,150千円、のれん償却額△10,499千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,450,944	282,967	49,527	49,783,439	—	49,783,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,279	302	—	13,581	△13,581	—
計	49,464,223	283,270	49,527	49,797,021	△13,581	49,783,439
セグメント利益	1,172,206	63,213	1,495	1,236,914	△559,926	676,988

(注)1. セグメント利益の調整額△559,926千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△549,564千円、棚卸資産の調整額138千円、のれん償却額△10,499千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。